



2023年「グローバル協力訓練枠組み」(GCTF) 合同委員会 共同声明

2023年12月6日、台湾外交部、台湾米国協会(AIT)、日本台湾交流協会(JTEA)、豪州弁事処は、第9回GCTF(グローバル協力訓練枠組み)合同委員会を開催した。会議では、台湾、米国、日本、豪州の代表が本年のGCTFの活動を振り返り、2024年に優先的に協力すべき分野について意見交換を行った。

GCTFはプラットフォームとして、台湾が志を共にするパートナーと協力してグローバルな課題に共同で取り組み、世界とその専門知識を共有することを可能にしている。2015年6月1日にGCTFが設立されてから、我々は70回の国際ワークショップを開催し、127か国から合計7,500人以上の政府関係者や専門家が参加している。

今年、台湾、米国、日本、豪州が達成した成果を誇りに思う。2023年は、英国、カナダ、セントルシアという共催パートナーを迎えて、GCTFイベントを7回開催し、成功を収めることができた。トピックは多岐にわたり、反腐敗、持続可能な航空、人道援助、持続可能な開発、海上災害対策、デジタル時代の人権を含む様々なグローバルな課題を取り上げた。

また、今年のフランチャイズGCTFは、マレーシア、セントビンセント・グレナディーン、イタリア、パラオ、ベルギー、セントルシア、ベリーズ、インドで8回開催し、デジタル・エコノミー、発展途上国のための技術・職業訓練、偽情報への対抗、メディアリテラシー、ジェンダー平等、ネットワークセキュリティ等に関するトピックを取り上げた。

来年は、GCTFの協力範囲を引き続き深化・拡大させる予定である。持続可能な開発、国際詐欺犯罪との闘い、ネットワークセキュリティと通信インフラの建設、レジリエンス能力の構築、ネットゼロ・エコノミーとクリーンエネルギー、海洋における気候

2023年12月6日

変動等のトピックでワークショップを開催する計画である。我々は、より多くの理念の近い国々が我々の仲間となることを歓迎する。

外交部長

吳釗燮

米国在台協会所長

サンドラ・オードカーク

日本台湾交流協会台北事務所代表

片山和之

豪州弁事処代表

ロバート・ファーガソン